



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和8年2月6日(金) NO.10

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「初心忘るべからず」

校長 田中 宏志

今から 600 年以上も昔の室町時代に、「初心忘るべからず」と唱えた人がいます。それは、能を大成させた世阿弥です。今回は世阿弥が言う“初心”の意味について紹介したいと思います。

「初心忘るべからず」とは、世阿弥が 40 代の頃から 20 年ほどかけて書いた『花鏡』という本に出てくるフレーズです。原文とその意味はこのようになっています。

『しかれば、当流に、万能一徳の一句あり。初心忘るべからず。』（さて、私達の流派にはすべてのことに通ずる一句がある。それは、「初心忘るべからず」である。）

ここで注意したいのが、世阿弥の言う“初心”とは「物事をはじめたばかりの謙虚な気持ちや初々しい志」のことではないという点です。ここでいう“初心”とは、「はじめての物事にぶつかる未熟な状態」の事で、簡単に言えば初心者を表します。初心者の時は、上手に物事ができないので失敗をします。未熟な自分を打破するため、努力や訓練を積み重ねる必要があります。つまり、慣れてからも怠慢な姿勢にならずに、未熟な頃を思い出して精進するべきである、と世阿弥は言っているのです。さらに『花鏡』には“初心”についてこう書いてあります。

是非の初心忘るべからず。
時々の初心忘るべからず。
老後の初心忘るべからず



世阿弥は、“初心”をこのように 3 つに分けています。世阿弥の論ずる人生の中では、初心は何度もあるもの。「是非の初心忘るべからず」は、判断基準になる初心者時代の未熟さを忘れるべきでない。「時々の初心」は、初心者から老年まで修行する中で、それぞれの時期における初心の段階を忘れるべきではない。そして「老後の初心」とは、年を取ったからと言って終わりではない、老年になっても初めての事があるのでやはり初心を持って芸を極めるべきである、という事です。

先生は、物事に慣れて慢心しがちな年度終わりのこの時期に、「初心忘るべからず」という言葉を心に刻みます。それは、「これまで多くの失敗を経験したからこそ、今の自分がある」ということを忘れず、いくつになっても成長するために研鑽を積むことが大切だと思うからです。一度できたからといって習得したものを忘れてしまっては、過去に培ったものが全て身についていないことになります。いつまでも成長し続けようという強い気持ちをもって、自分の未熟さを忘れないことが大事だと思っています。

津幡南中学校で学ぶみなさんにも、日々の努力や成長の過程で自分自身を振り返り、自分で選んだ道を正解にする力を付けていくために、“初心”を忘れず頑張りたいと願っています。

TPOを意識した生活をしよう

Time・・・時・時間 Place・・・場所 Occasion・・・場面

「立場」にふさわしい行動を

今月の月目標も、TPOを意識した生活をしようです。
ふさわしい行動は立場によっても変わります。

あと少して、先輩として、最上級生として、
義務教育を終えた卒業生へと立場が変わります。



4月になってから、急に変わることは難しいですね。ですから、今から少しずつでも新しい立場の「ふさわしい行動」を意識して欲しいと思います。

「こんな時どうすることがふさわしいか・・・」
あの先輩なら、未来の自分なら、〇〇〇〇なら・・・」

理想の姿を意識しながら、挑戦していきましょう。
その行動の積み重ねが新しい自分をつくれます。

★学習指導より★

◇2月の学習目標◇

学びを充実させ、次の学年へつなげよう

授業 大切な内容は何かを考えながら（集中して） **家庭** 習ったことはその日のうちに自分のものに（家庭学習の充実）

1. 学びを充実させるポイントは「家庭学習」！

高校入試に向けた学習を続けてきた3年生は実感があることかと思いますが、「学びを充実」させるためには、「学びを定着」させていくこと、つまり「できた」を増やしていくことが非常に重要です。「できた」を増やしていくためには授業の復習が何より大切です。では、効率的に復習を行う方法を皆さんは知っていますか？限られた時間で効果を最大化するために意識するポイントを紹介します。

「できた！」を増やすために重要なのは・・・



「できない」を見つけ、
「できる」に変える

復習をする際に意識してほしいポイントは3つです。①授業で分からなかったところ、②解き方を人に説明できないところ、③ワークやテストで間違えたところ、の3点です。今の自分の学習の中で意識できているでしょうか。ぜひ、自分の学習の中で意識して復習していき、授業や家庭学習での学びを充実させられるようにしましょう！

2. 新年度は目前に！

新年度に向けて、今年度中にできるようになっていなければならないことをきっちり身につけられるようにしましょう。学習において各学年が目指す姿は以下の通り。成長を続けていきましょう！

【新学年に向けて】 **1年生**

「新入生の**模範**となる」

- ・ベル学の徹底
- ・授業終始の挨拶
- ・提出物の〆切厳守



【新学年に向けて】 **2年生**

「受験生としての
自覚ある行動」

- ・学習習慣の定着化(講座)
- ・小テスト合格
- ・自分の考えを積極的に表現



【進学に向けて】 **3年生**

「新しいステージでの
大活躍の準備」

- ・節度ある生活
(メディアコントロールなど)
- ・家庭学習習慣の維持

